

平成 23 年 4 月 6 日

豊島区男女平等推進センターが新文芸坐との共催で女性映画上映

～豊島区男女共同参画都市宣言 10 周年記念～

来る 4 月 17 日（日曜日）と 18 日（月曜日）の二日間、豊島区東池袋の新文芸坐において「豊島区男女共同参画都市宣言 10 周年記念」と銘打って 4 本（各日 2 本ずつ）の映画が上映される。

豊島区は、平成 14 年 2 月 15 日、区議会の全会一致決議に基づき、「男女共同参画都市宣言」を行なった。この宣言は、区民一人ひとりの人権が性別などの違いにかかわらず尊重され、一人ひとりがその人らしく暮らしていけるまち「男女共同参画都市」の実現に向けて、区民とともに取り組んでいく決意を表明したものである。

平成 23 年度は、この「都市宣言」からちょうど 10 周年となるメモリアルイヤーである。男女平等推進センターでは、これを機に広く区民に「男女共同参画都市宣言」を周知するため、区民に親しみやすい形での啓発方法を検討してきた。

センターの事業の一つに「エポック 10 シネマ」という映画上映会がある。映画の中の多様な人々の生き方や考え方に触れ、社会の中で女性・男性を取り巻く様々な問題について考える機会となっているこの事業は、次回開催を心待ちにする声が寄せられるなど好評な事業だが、センター内のみでの上映のため、参加者の拡がり・発信力の不足が課題であった。今回、映画を通じてより多くの人に、多様な生き方を認め合う社会について考えるきっかけを提供できれば、と新文芸坐に働きかけたところ、同館での上映が実現した。

新文芸坐では、毎年春、前年の日本映画を振り返る恒例企画として「気になる日本映画達」と題したシリーズ上映を行なっている。今年も 4 月 8 日から 20 日の間に、話題の邦画作品 26 作品が一挙上映されるが、そのうち女性監督作品や女性の生き方を描いた作品など 4 本を「豊島区男女共同参画都市宣言 10 周年記念」として取り上げる。

上映作品は次のとおり。

4 月 17 日（日曜日）

「うまれる」（豪田トモ監督）

「玄牝ーげんぴんー」（河瀬直美監督）

4 月 18 日（月曜日）

「信さん・炭坑町のセレナーデ」（平山秀幸監督）

「レオニー」（松井久子監督）

※この 2 日間に限り、区内在住・在勤・在学の方は 100 円引き（証明するものを持参のこと）

「センター単独の事業で行うよりも、新文芸坐さんのご協力によって、普段男女共同参画に興味のない人にもアピールするよい機会となると思う」と担当者は話している。

問い合わせ：男女平等推進センター
新文芸坐